

1 シリンダの点検事項

シリンダの点検事項は一般的な内容です。
お客様の仕様に合った事項を追加され点検実施をお願いします。

■点検事項

- 1) シリンダ取付ボルトおよびナットに緩みがないか。
- 2) シリンダ取付フレームの緩み、または異常なたわみ。
- 3) ロッド先端金具、タイロッド、ボルト類の緩みやガタがないか。
- 4) ロッドに打痕や摺動傷がないか。
- 5) 作動状態がスムーズであるか、最低作動圧力が上昇していないか。
- 6) ピストン速度やサイクルタイムに変化がないか。
- 7) 動作端で衝撃が発生していないか、異音の発生がないか。
- 8) 外部漏れが発生していないか、特にロッドパッキン部に注意。
- 9) ストロークに異常がないか、規定ストローク動作しているか。
- 10) オートスイッチの動作、締結の緩み、位置がずれていないか。

■シリンダの状態によるトラブル判断(外見からの判断)

- 1) ロッド表面の片側だけが黒く汚れている
→ 偏芯荷重・横荷重によりパッキンが偏摩耗している。
- 2) ロッド全周に動作方向のうすい摺動傷が入っている
→ グリース切れによる潤滑不良
- 3) ロッド表面の片側だけに摺動傷が入っている
→ 偏芯荷重・横荷重によりロッドとブッシュが強く当たって傷がついている
- 4) ロッドの一部に直角方向の傷が入っている
→ シリンダ停止時に大きな横荷重が作用している
- 5) ロッドパッキンのエア漏れ
→ 傷、打痕、偏芯荷重、外的な異物(固体・液体)などの原因が考えられる。

■発生するトラブル(参考)

トラブルシューティング シリンダをご確認ください。(P.5)